

会議傍聴報告書

会 議： ISSB 会議（2023年12月）

日 時： 2024年1月11日（木曜日）

報 告 者： サステナビリティ基準委員会 専門研究員

今井優里、江口智美、小川智之、曾根由香里、吉村航平

ISSB 会議（2023年12月）傍聴報告

日時：2023年12月13日（水）～14日（木）

スケジュール：別紙参照

2023年12月13日及び14日に、国際サステナビリティ基準審議会（以下「ISSB」という。）のボード会議が開催された。12月のISSBボード会議では、次の項目が議論された。

- SASB スタンダード¹の国際的な適用可能性
- 情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」に関するフィードバック
- IFRS サステナビリティ開示タクソノミ案の変更

¹ SASB スタンダードは、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）が2018年に公表した、11セクター・77産業にわたる産業別のサステナビリティ開示基準である。SASBは、2021年6月に国際統合報告評議会（IIRC）と合併して価値報告財団（VRF）となり、その後、VRFは2022年8月にIFRS財団に統合された。現在、SASB スタンダードは、IFRS財団の著作物となっている。

【12月13日（水）】

SASBスタンダードの国際的な適用可能性

（背景）

ISSBは、2023年5月に公開草案「SASBスタンダードの国際的な適用可能性を向上させるための方法論及びSASBスタンダード・タクソノミのアップデート」（以下「公開草案」という。）を公表した。ISSBは、公開草案に寄せられたフィードバックを考慮してSASBスタンダードの修正を行い、気候以外に関連するSASBスタンダードの修正履歴付き（blackline）文書を2023年10月に公表した。

2023年10月のISSBボード会議では、公開草案に寄せられたフィードバックの概要について説明がなされ、修正履歴付き（blackline）文書に対するISSBの対応について議論が行われた。

（今回の会議における主な論点）

ISSBスタッフより、実施されたデュー・プロセスのステップ及び修正されたSASBスタンダードの発効日に関する説明が行われた。その上で、ISSBは、再公開の要否及びSASBスタンダードに対する修正を承認する（ratify）かどうかに関して議論を行った。

（主な決定事項）

ISSBは、次のことを決定した。

1. 再公開（re-exposure）は必要ない。
2. SASBスタンダードに対する修正を承認する（ratify）。
3. SASBスタンダード・タクソノミに対して関連する更新を行う。

ISSBは、適用されるデュー・プロセスの要求事項に準拠し、修正されたSASBスタンダードを公表するために十分な協議及び分析を実施したことに納得したことを確認した。

（今後の予定）

ISSBは、2023年末までに、修正されたSASBスタンダードを公表する見込みである²。

² 本報告書作成時点において、修正されたSASBスタンダード（結論の根拠を含む。）が公表されている。<https://www.ifrs.org/projects/completed-projects/2023/international-applicability-of-the-sasb-standards/#published-documents>

【12月14日（木）】

情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」に関するフィードバック

（背景）

ISSBは、2023年5月に情報要請「アジェンダの優先度に関する協議」（以下「情報要請」という。）を公表した。情報要請は、次のことに関する見解を求めるものであり、そのコメント期間は2023年9月1日に終了した。

- ISSBの活動の戦略的方向性及びバランス
- どのサステナビリティ関連事項（トピック、産業及び活動を含む。）を優先し、ISSBの作業計画に追加すべきかについて評価するためにISSBが識別した規準の適切性
- ISSBの作業計画に追加する可能性がある新たなリサーチ・プロジェクト及び基準設定のプロジェクトのリスト案

2023年11月のISSBボード会議では、情報要請に関するフィードバックのうち、報告における統合（integration in reporting）に関するもの³以外のものを分析し、要約したものが提示され、ISSBはその内容について議論を行った。

（今回の会議における主な論点）

今回の会議では、2023年11月のISSBボード会議で要約して提示された回答のうち、一般目的財務報告書の主要な利用者からの回答⁴に焦点を当てたものの分析及び要約が提示された。その上で、ISSBは、その内容について議論を行った。

（主な暫定決定事項）

ISSBは何も決定を求められなかった。

（今後の予定）

ISSBは、情報要請に関するフィードバックについての議論を継続し、情報要請において挙げられている事項に関する意思決定を行う予定である。

³ ISSBスタッフによると、報告における統合（integration in reporting）に関するリサーチ・プロジェクト案についてのフィードバックは、ISSBと国際会計基準審議会（IASB）の両者に関連するため、2024年1月に共同で行う議論において提示される予定であるとのことである。

⁴ ISSBスタッフによると、ISSBは情報要請に対して、一般目的財務報告書の主要な利用者から70通の回答を受領し、これには13通の代表的な団体からの回答及び57通の個別の機関からの回答が含まれていたとのことである。

IFRS サステナビリティ開示タクソノミ案の変更

（背景）

ISSBは、2023年7月にIFRS サステナビリティ開示タクソノミ案を公表した。当該提案は、2023年6月に公表されたIFRS S1号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項」及びIFRS S2号「気候関連開示」における要求事項を反映したものであり、そのコメント期間は2023年9月26日に終了した。

2023年11月のISSBボード会議では、IFRS サステナビリティ開示タクソノミ案に対する利害関係者のフィードバックを分析し、要約したものが提示され、議論が行われた。

（今回の会議における主な論点）

2023年11月のISSBボード会議における議論を基にした、IFRS サステナビリティ開示タクソノミ案の変更について説明が行われた。その上で、ISSBは、その内容について意見交換を行った。

（主な暫定決定事項）

ISSBは何も決定を求められなかった。

（今後の予定）

ISSBは、2024年上半期に書面投票プロセスを開始し、IFRS サステナビリティ開示タクソノミを公表する見込みである。

以 上

別紙 スケジュール

12月13日（水）

| 時間（予定） | アジェンダ項目 |
|-------------|--|
| 16:30-18:00 | SASB スタンドアードの国際的な適用可能性－SASB スタンドアードの修正の承認（ratification）（アジェンダ・ペーパー8） （予定 90 分→45 分） |

12月14日（水）

| 時間（予定） | アジェンダ項目 |
|-------------|---|
| 7:45-9:15 | アジェンダの優先度に関する ISSB の協議－一般目的財務報告書の利用者からのフィードバックの要約（アジェンダ・ペーパー2） （予定 90 分→100 分） |
| 9:15-10:45 | 休憩 |
| 10:45-12:15 | IFRS サステナビリティ開示タクソノミー－IFRS サステナビリティ開示タクソノミー案の変更（アジェンダ・ペーパー7） （予定 90 分→80 分） |

以 上